

TAIJI ILS-25

(LW/DW/WW)

施工説明書

このたびは、ILS-25をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ILS-25の施工には電気工事店に依頼してください。

ILS-25はライトウッド(LW)、ダークウッド(DW)、ホワイトウッド(WW)の全3色ございます。
外箱に記載されている型番と製品の色をご確認ください。

工事店様は、この説明書は保守のため
施工後お客様に必ずお渡しください。

もくじ

- ①安全上のご注意
- ②取付場所の確認
- ③電源コードとランプの取付・交換方法
- ④電源コードの長さを短くする場合①～④
- ⑤電源コードの長さを短くする場合⑤～⑧
- ⑥電源コードの長さを短くする場合⑨
- ⑦施工後の確認


(1504B)


①安全上のご注意

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、製品を正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。お読みになったあとは、いつも手元に置いてください。

絵表示の例 その1


お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。


 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。


 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。


絵表示の例 その2


お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。


 △(三角形)の記号は、「警告や注意を促す」内容のものです。
(左図の場合は高温注意)


 ⊙(丸に斜線)の記号は、してはいけない「禁止」内容のものです。
(左図の場合は分解禁止)


 ●(黒丸)の記号は、必ず実行していただく「指示」内容のものです。


 **警告** 以下の項目は、その内容を無視して誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表示しています。


 設置工事は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。ご自分で設置工事をされ不備があると、感電、火災、落下の原因となります。


 設置工事は施工説明書(本書)に従い確実に行う。設置工事に不備があると、感電、火災、落下の原因となります。


 電源は必ずAC100Vで6A以上からお取る。容量不足や設置工事不備があると感電、火災の原因となります。


 設置工事は製品の重量に十分耐えるところに確実に行う。耐重量不足や取り付けが不完全な場合、製品の落下により感電、ケガの原因となります。

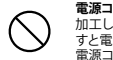
 角型引掛シーリングキャップの取り付け面に、ほこりが付着していないか確認し、確実に取り付け。接続が不完全な場合は感電や火災の原因となります。


 器具とワークトップ(照射されるテーブル面)の被照射物は300mm以上離す。火災の原因となります。

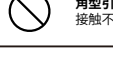
 修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理を行わない。感電、火災、落下、ケガの原因となります。


 電源コードの長さ調節は角型引掛シーリングキャップ側で行う(「電源コードの長さを短くする場合①～⑧」を参照)。それ以外の方法で変更すると感電、火災、落下、ケガの原因となります。

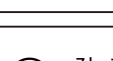
 改造、および構成部品(ソケット、コードなど)の交換は絶対に行わない。感電、火災、落下、ケガの原因となります。


 電源コードを傷つけない。加工したり、引っ張ったり、束ねたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し感電や火災の原因となります。電源コードを、熱源に触れさせないでください。


 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。


 角型引掛シーリングキャップの刃を故意に曲げて使用しない。接触不良により火災の原因となります。


 屋外で使用しない。雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因となります。



 湿気の多い所や、水のかかりやすい場所に設置しない。絶縁が低下し、漏電、感電の原因となります。


 ストープやガラスレンジなどの温度が高くなる物の近くや、湿気の発生する場所には設置しない。感電、火災の原因となります。


 製品に付属しているビニール類や緩衝材は梱包開封後すぐに破棄する。子供が誤ってビニール類を使用すると窒息の原因となります。

 **注意** 以下の項目は、その内容を無視して誤った取り扱いをした場合、使用者が傷害を負う危険が想定される、または物的損害のみの発生が想定される場合を表示しています。

 製品を落としたり、強い衝撃を加えない。故障、火災の原因となります。

  製品の梱包用ポリ袋は、すぐに廃棄する。窒息事故防止のため、お子様の手の届くところにそのまま放置しないでください。

 直射日光の当たる場所、振動のある場所、雨の吹込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所には設置しない。火災、感電、落下ケガの原因となります。

 製品にむやみに触らない。通電中は製品が熱くなっています。ヤケドの恐れがあります。


工事される方へのお願い


- ①この器具を正しく安全にご使用いただくために、指定された工事を行ってください。
- ②工事完了後に、試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明ください。
- ③この説明書は、必ずお客様にお渡しください。

②取付場所の確認


・取付場所は、風通しがよく熱の影響を受けない所で、直射日光を受ける所やガスコンロ、レンジ等の熱源の近くは避けて下さい。また、湿気の多い所や、水のかかり易い場所には取り付けないでください。

・取付場所は、重さに十分耐えるところに確実に行ってください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因になります。

 **禁止** 次のような天井には取り付けないでください。




簡単にたわむ天井




傾斜天井


■取り付け可能な「シーリング」と「ローゼット」
・天井に「引掛埋込ローゼット」が「角型・丸型引掛シーリング」などが付いている場合は、電気工事無しで取り付けることができます。



「丸型引掛シーリング」

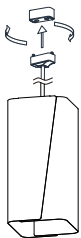


「角型引掛シーリング」



「引掛埋込ローゼット」

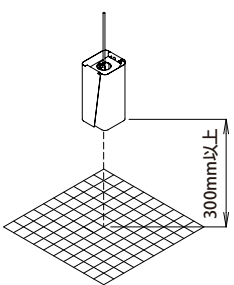
3 電源コードとランプの取付・交換方法



製品側の「角型引掛けシーリングキャップ」をしっかり持ち、天井に付いている「引掛埋込ローゼット」または「角型・丸型引掛シーリング」へ差し込み、製品側の「角型引掛シーリングキャップ」を回し確実に取り付けてください。

注意 取付の際には安全のためブレーカーをOFFにするか、スイッチをOFFにした状態で取り付けてください。

天井に上記の「引掛埋込ローゼット」または「角型・丸型引掛シーリング」がない場合は、電気工事が伴います。その場合は、電気工事店（有資格者）に依頼してください。一般の方の取り付けは、法律で禁止されています。



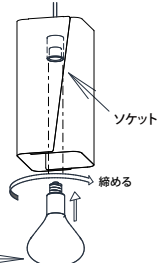
禁止 ランプの照射される範囲や器具の回り、上部にはエアソー、缶、プラスチック、油、紙類など燃えやすい物は置かないでください。

高温注意 通電中、通電直後は、製品本体は非常に熱くなります。手を触れないように注意してください。

製品を取り付ける際には、ワークトップ（照射されるテーブル面）より300mm以上離して設置してください。300mmより低く設置するとワークトップが可燃性の場合、変形、火災の原因となります。

■ランプの取付方法（交換方法）

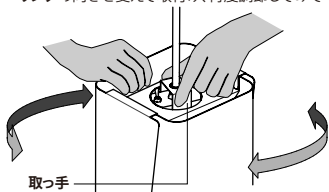
- ①「スイッチ」と「ブレーカー」はあらかじめ切ってください。
- ②交換の際は、製品が十分に冷めてから、ランプの交換を行ってください。
- ③ランプを取付ける際は、「取っ手」を持ちながら反時計回りに回して外してください。
- ④新しいランプは、時計回りに回して取り付けます。



赤外線ランプ（赤外線乾燥用電球）
250W（口金サイズE26）

禁止 ランプ交換の際には、250W以下のランプを使用してください。それ以外のランプを使用しますと火災の原因になります。

本体の取り付けが完了したら、取っ手をつかみながら、リフレクターを回転させてお好みの面に調節してください（回転範囲は135度）。回転させてお好みの面に調節できなかった場合は、角型引掛シーリングの向きを変えて取付け、再度調節してみてください。



「取っ手」をつかんで「リフレクター」を回す（回転範囲は135度）

4 電源コードの長さを短くする場合①～④

■電源コードの長さを短くする場合は下記の手順に従ってください。

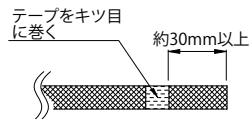
注意 電源コードを短くする場合は角型引掛シーリングキャップ側で調節してください。それ以外では調節しないでください。火災・感電・落下・ケガの原因となります。

禁止 本体側（ランプ側）では絶対にコードの調節や改造をしないでください。耐熱性を考慮した特殊部品を使用しております。火災・感電・落下・ケガの原因となります。

①角型引掛シーリングキャップ側の端子を止めているネジをはずし、必要な長さの電源コードを残しカットしてください。

（電源コードは角型引掛シーリングキャップ内の配線のために30mmほど余分に必要となりますので、その分を考慮した長さを残してカットしてください。）

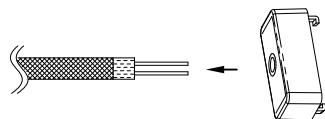
②カットしたところから30mm以上のところで幅10mmから15mm程度のテープをキツ目に巻いてください。（外装のほつれ防止のため）



③テープより外側の電源コードの外装をほぐしてテープより外側のほぐした外装（黒と白のヒモ）をカットしてください。

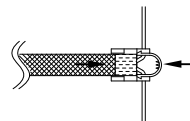
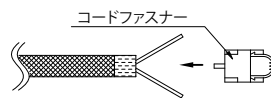


④角型引掛シーリングキャップを電源コードに通しておきます。

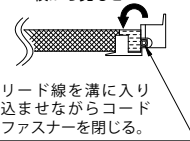


5 電源コードの長さを短くする場合⑤～⑧

⑤付属のコードファスナーをコードに押し付けながら取り付けます。



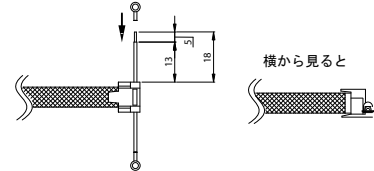
横から見ると



リード線を溝に入り込ませながらコードファスナーを閉じる。

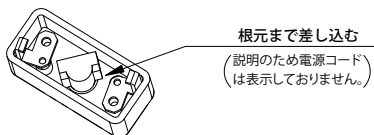
※コードファスナーの溝にリード線を入れ込ませながらコードファスナーを閉じる。電源コードを傷つけないようにペンチ等を使用してしっかり固定させてください。

⑥リード線をコードファスナーから18mmのところまでカットし、リード線の被覆を5mm剥きます。剥いたところに付属の丸型端子を裸端子用の圧着工具でしっかりとカシメてください。

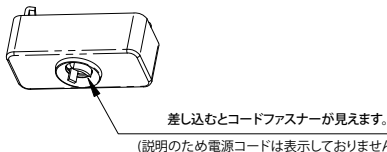


横から見ると

⑦先に差し込んでおいた角型引掛シーリングキャップを嵌めてください。コードファスナーを角型引掛シーリングキャップの内側根元までしっかりと差し込んでください。



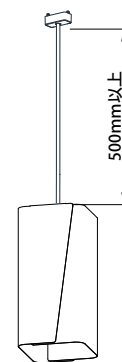
根元まで差し込む
（説明のため電源コードは表示していません。）



差し込むとコードファスナーが見えます。
（説明のため電源コードは表示していません。）

⑧丸型端子をネジで固定してください。

6 電源コードの長さを短くする場合⑨



⑨調節が完了したら、「取付方法」の通りに製品を取り付けてください。

注意 コードファスナーは製品の重量を支えるためのものですので、必ず確実に取り付けてください。

注意 電源コードの長さは500mm以上としてください。それより短いと、火災・感電・落下の原因となります。

7 施工後の確認

■施工終了後、次の項目を確認してください。

★電源を入れる前に

①説明書、付属品について
取扱説明書、施工説明書は、お客様にお渡しください。また、使用しなかった付属品もお客様にお渡しください。

②包装材について
製品の保護としての包装材は必ず取り外してください。取り外さないで電源を入れると火災・感電・落下・ケガの原因となります。

③各部の確認
外観、電源コード、角型引掛シーリングキャップにキズ、変形、破損がないか確認してください。また、ワークトップから製品までの距離が300mm以上になっているか確認し、ランプ周囲に可燃物がないか確認してください。ランプは非常に熱くなります。可燃物がありますと火災の原因となります。

④各部の接続
角型引掛シーリングキャップが確実に接続されているか、赤外線ランプにゆるみがないか確認してください。接続が不確実な場合、点灯しなかったり、火災・感電・落下・ケガの原因となります。

★電源を入れる
ランプの点灯確認
上記の確認が終了後、電源を入れ赤外線ランプが点灯することを確認してください。

高温注意 通電中は本体、ランプが熱くなりますので、ヤケドには十分注意してください。

※ご不明な点、詳細につきましては、販売店、タイジ様にご相談ください。

TAIJI タイジ株式会社 <http://www.taiji.co.jp/support/>
東日本営業所 〒210-0858 川崎市川崎区大川町8-2
TEL 044-329-5880
E-mail esst_sales@taiji.co.jp

西日本営業所 〒533-0021 大阪市東淀川区下新庄5-26-21
TEL 06-6990-6853
E-mail west_sales@taiji.co.jp